



Sun Capital Management Corp.
燦キャピタルマネージメント株式会社

NEWS RELEASE

平成 29 年 2 月 20 日

会 社 名 燦キャピタルマネージメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 前田 健司
(コード番号：東証 JASDAQ2134)
問 合 先 取締役 経営企画室長 松本 一郎
(TEL. 06-6205-5611)
U R L <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp>

バイオマス等再エネの環境的利用情報ネット専門誌
『On-site Report(オンサイト・レポート)』に当社の記事が掲載されました。

—掲載記事—

《2月15日(水)付264号》

**燦キャピタルマネージメント(株)が3月、発電向け燃料ペレットの製造・販売で孫会社を設立へ
SGPE ジャパン(株)(東京都港区、齋藤頭次社長)、日本国内で木質ペレット製販事業など展開**

燦キャピタルマネージメント(株)(大阪府中央区、前田健司社長)は2月15日付で、バイオマス原料の製造・販売などを業とする孫会社を設立すると発表した。

名称は SGPE ジャパン(株)(東京都港区、齋藤頭次社長)で、設立は本年3月3日(予定)。燦キャピタルの子会社で、バイオマスに関する製品製造・販売や事業コンサルを手掛ける SUN GREEN POWER ENERGY PTE.LTD.(シンガポール、Director・齋藤頭次氏)の子会社という位置づけ。

新会社 SGPE ジャパンは、日本国内で木質ペレットの製造・販売事業などを展開する。いま、国内電力会社、バイオマス発電事業者などへのバイオマス燃料供給と、太陽光発電事業者への投資を行う準備をしているという。

国内の木質ペレット生産量は約12万t/y(2015年林野庁調査)。そのうち主な発電所混焼向け大口需要は沖縄県の2.0~2.5万t/y、宮崎県の約1.0万t/yなど。

輸入ペレットに関しては、2016暦年で34万6,855tがCIF*平均19.7千円/tで入っているが、火力発電での混焼実績は数カ所を除いては推定も出来ない状況。ペレット混焼を行っているか行う計画があるのは、関西電力、中部電力、東北電力、東京電力など。ほかに昭和シェルなどFIT*バイオマス発電所や、雨後のタケノコのようにプロジェクトが起ちあがっている112MW石炭・バイオマス混焼案件では、ほ



Sun Capital Management Corp.
燦キャピタルマネージメント株式会社

とんどの案件が混焼バイオマスとして PKS*や木質ペレットを挙げている。仮に 112MW 石炭火力で 30 万 t/y の石炭を使うとして、そのうちわずか 3 %をバイオマス混焼で賄うとしても、1 ヲ所で 1 ～ 2 万 t/y という大量のバイオマス利用になる。

【掲載元】

『On-site Report』(オンサイト・レポート)

〒176-0013 東京都練馬区豊玉中 1-1-10-303

<http://www.taki-repo.com>

※参考

CIF : 仕向け港での運賃・保険料込の価格

FIT : 再生可能エネルギーの買取制度

PKS : アブラヤシ核殻